

令和7年度 第3回 学校運営協議会 議事録

日時 2月17日(火) 14:00~15:00

場所 水沢高校 大会議室

1 開会

2 校長挨拶

今回は第3回の学校運営協議会ということで、生徒、保護者、教職員の三者に対して行われました学校評価アンケートの集計結果を中心に御意見をいただきたい。今回が今年度最後の学校運営協議会となりますので、次年度に向けて委員の皆様方から、感想や御提案がございましたら、お話しいただきたい。

学校の近況について少しお話させていただきます。施設整備についてですが、要望の多いトイレの洋式化につきましては、県と協議をしながら、今年は2階女子トイレの改修を行いました。視聴覚室のカーペットが破れてしまったので床を張り替え致しました。今年は強風による倒木が何本かありました。そのうち1本はテニスコートのフェンスをなぎ倒して倒れるといった状況でした。安全第一ということで伐採させていただきました。

次に生徒に関連する事項ですが、全校生徒に関わる学校行事は予定どおり行いました。各学年での講演会、理数科理数探究発表会、大学の先生による出前授業等は計画どおり行っております。特に大学との連携につきましては、DXハイスクールに認定されている関係で、データサイエンスに関する講演会、出前授業も行いました。次年度は普通科にも広めるということで、DX委員会を立ち上げます。予算は年々縮小されて、来年度はDXハイスクール3年目になりますが、予算が300万となりました。初年度1000万でしたので、1000万、500万、300万と減っています。現在は国の方に申請をしているところです。

3年生の進学状況ですが、学校推薦型入試とか総合型入試の合格率が比較的良く出ております。国公立大学に限って言うと、12月段階で41名合格ということで、県内トップの数字でございました。現在は共通テスト利用の推薦もあり、合格者がプラスされまして、57名が合格しています。難関大では、例えば東北大とか医学部に進学ということを目指していますが、岩手医大の医学部医学科に複数の合格者が出ております。医学部医学科は現役が3名、浪人生が1名ということで、計4名というのは、ここ数年にはないことです。今月25日から国公立の前期試験ということで、ほとんどの受験生が今一生懸命頑張っているところです。

高校入試の調整前の倍率が発表されまして、本校の定員240名のところ266名ということで、倍率は1.1倍となりました。少子化の影響で盛岡以外の進学校が1倍を超えられないという状況ですが、本校は定員を超えた進学者数がここ数年続いています。今週金曜日まで調整期間がありますので、若干人数が動く可能性もあります。中学生から進学したいという学校の一つに選ばれていると思っています。

最後になりましたが、私はこの3月で役職定年ということになります。水高には教諭で5年間、校長として3年間、計8年間勤務させていただきました。優秀な生徒の皆さん、理解のある保護者の皆様、生徒のために頑張る先生方のおかげで、充実した日々を過ごさせていただきました。委員の皆様

には大変お世話になりました。この場を借りて御礼を申し上げます。

3 協議

ア 学校評価アンケート（生徒・保護者・教員）結果について

【副校長】

学校評価アンケート（生徒）について

緑色の箇所が過去7年間で最高値の項目となっています。今年度は多くの項目で最高値の評価をいただきました。特に「26番 あなたは本校に入学してよかったと思う」の項目では評価度91となっており、充実した学校生活を送っている生徒が多いと考えます。その一方でスマートフォンの使用については低い評価度となっており指導に苦慮している現状があります。

学校評価アンケート（保護者）について

同じく緑色の項目も今年度多数あり、高い評価を頂いております。21番の「お子様が本校に入学してよかったと思う」について高い評価をいただきました。本校の教育について御理解いただいているものと考えております。

自由記述について

お手元の資料には自由記述をすべて掲載いたしました。施設設備から授業の仕方まで貴重なご意見を寄せていただきました。施設・設備については事務室に御協力をお願いし改善できるところから改善いたします。今年度も2階女子トイレの洋式化工事を行ったところでございます。授業に関しては真摯に受け止めて授業の改善につなげるように教員団には指示しております。

学校評価アンケート（教員）について

同じく緑色の箇所が過去4年間で最高値となっています。全体的に評価度80を超えておりますので、教員も良い評価をつけています。中でも4番の地域連携の項目は市役所の皆様の御協力もあり、ここ数年ますます評価が上がっている。また、32番の教育相談も担当職員とカウンセラーさんを中心によく機能していると思われまます。

働き方改革について

今年度は年間行事予定において、行事の代休日を意図的に3連休になるように配置し、部活動休養日を設けることで生徒も教員も休めるように配慮いたしました。また、教員も意識して振替休日をとる職員が増えており、時間外在校時間の80時間以内は達成できております。

生徒のためにとすると手を掛けたくなり、なかなか業務を減らしていくことは容易ではないのですが、引き続き働き方改革を進めてまいります。

【委員】夏暑く、冬寒いとなっているがエアコン等の基準はあるのか

【事務長】

冬の朝はできるだけ早い時間、7時過ぎにはエアコンをつけるようにしている。温度は21度設定で

す。

県の推奨は 18 度とか 19 度という設定になってますが、21 度で対応しております。

夏においても、できるだけ早くつけるということにしている。設定温度も、推奨は 28 度ですが、それでも暑いので 25, 26 度ぐらいに設定している。施設が古いということもあり、生徒の希望に沿えない部分もある。

【委員】

生徒の要望のどれに答えるかは難しい。大学ではクラス単位で意見をまとめてもらっている。可能であればこういった方式もある。

【校長】

校舎は築 48 年で、ウィークポイントはトイレである。今度は 2 階の男子と 3 階の女子トイレを改修しようと考えている。

その他の要望については、アンケートの時と生徒総会でも時々出してくれるので、それらを学校で踏まえて、すべて検討している。

来年度は軽食のパンの自動販売機を入れることにしている。パンは売りに来てもらっているが部活動の前とか、放課後の学習で残って勉強している生徒が小腹を満たしたい時に利用できるようにする。

【委員】 アンケート結果のフィードバックの仕方はどうなっているのか。

【校長】

数字はホームページに全部載せているのでパソコン等で見られるようになっている。記述については載せにくい面もあって載せていない。

学校評価アンケートは非常にマイルドに書いてもらっている。学校によっては誹謗中傷みたいなものがある学校もある。今回は「ご指導いただきありがとうございます」という記述も見られた。すべてにフィードバックはしていないが、要望があったことについては PTA 等で話したりしています。

【委員】

生徒も保護者も水高に入学して良かったという回答が 9 割程度あり、ほっとしている。

【委員】

暑い寒いに関して、生活レベルが一般家庭でも上がってる。現在の社会状況では要望が出ることも仕方のないこと。可能な範囲で対応しているとのことで有りがたいです。

「入学して良かったと思う」について本年度が最高値ということで、やはり校長先生、その他の先生方が本当に頑張っている結果だと思います。生徒だけが良かったというのであれば、テストとか勉強がゆるくて楽で良いともとれるが、保護者の方からも高い評価をいただいているということは、本当に良いと思います。なお、回答率はどうなっているのか。

【副校長】

生徒は 100%を目指しているが、93%の回答率であった。保護者は若干低い回答率であったが、強制

するわけにもいかないと思っている。

【委員】

生徒アンケート 19 番「あなたは部活動に積極的に取り組んでいる」、保護者アンケート 17 番「お子様は、部活動に積極的に取り組んでいる」が下がったほどではないが、最高値にはならなかった。自由記述でも何名かが部活動についてコメントしている。部活動指導者に対する不満もあるようだ。学校としてどのようにとらえているのか。

【校長】

部活動の顧問については、全教員についてもらっている。コーチや部活動指導員をお願いしている部もある。人事上、部活動で教員を引っ張って来れる学校ではない。進学指導とか授業力というところで来てもらっている。

部活動は自由参加であり、入部についても入らなくても良いことになっている。その他に地域で活動している人もいる。正直、学校全体として強烈に部活動入部を推奨というのが今はほとんどなく、生徒たちはやりたいことを懸命に頑張っている。

一生懸命やりたい生徒は専門の指導者がいないことに不満が出てきたりする。生徒が自走できるような部活動をしようとしているので、楽しいと感じる生徒もいれば、物足りないと感じる生徒もいる。

【委員】

監督がいて、コーチがいて、怒られながらやっていた時代とは違う。強制的に部活動に入ることもない。このことを理解していない保護者がいるのではと思う。部活動でも高校生が地域活動に入ってくることはありがたいことである。

イ 働き方改革について

【副校長】

今年度は年間行事予定において、行事の代休日を意図的に 3 連休になるように配置し、部活動休養日を設けることで生徒も教員も休めるように配慮しました。

また、教員も意識して振替休日をとる職員が増えており、時間外在校時間の 8 0 時間以内は達成できております。

生徒のためにとすると手を掛けたくなり、なかなか業務を減らしていくことは容易ではないのですが、引き続き働き方改革を進めてまいります。

【校長】

法改正により教員の業務量の定量チェックについて、アクションプランや時間外集計についても学校運営協議会の承認を得ることになる。第 1 回の学校運営協議会にて認めてもらう方向である。これは全県立高校で行われることになった。

【委員】

勤務時間外状況について、課外活動は時間に入っているのか。

【副校長】

8時15分から16時45分までが勤務時間内となるので、それ以外が全部集計に入る。部活動も入る。

4 委員の皆様からの提言、要望等

【委員】

入学志願者の比率はどうなっているのか。奥州市内と市外で区別した場合について教えてほしい。

【校長】

9割以上が奥州管内からの志願者である。本校は理数科があるため、60名が学区外定員であるが、学区外は少ない。ほぼ近隣地域から来ている。

【委員】

市外に宣伝するようなことはあまりしていないのか。

【校長】

学校案内は美術部の生徒、写真部の生徒を中心に生徒目線で結構良いものができたので、花巻から一関までの全ての中学校に送付している。また、奥州管内はすべての中学校を校長が回り、高校の説明をした。水高の印象は良いように感じた。

【委員】

今年度、市に協力いただいてさまざまな事業ができた。探究学習関係は来年もお金をつけてやっていきたいと思っています。積極的に御利用ください。

【委員】

保護者も生徒もここに入って良かったという数値が上がってくるのは、すごく先生方の頑張りのおかげです。志願者数が1倍を超えるというのは、卒業生も含めての評価だと思う。引き続き良い学校を作っていってほしい。

【委員】

令和10年に金ヶ崎高校と統合することについて、具体的に学校現場にはヒアリングがあったのか。

【校長】

今は最終案が出た段階である。4月に動き出すことになると思う。来年度、再編計画が全部出た段階で検討委員会を立ち上げることになる。かつて水沢高校と胆沢高校が統合した時も検討委員会があった。統合の仕方も完全統合とするか、年次統合とするかについても検討することになるだろう。

胆沢高校との統合の際は、PTA会長、同窓会長、地域の方々も含めての会議を経て決定したようだ。

【委員】

中学校の卒業生の推移をみると本当に減ります。実際はもっと減ると思われる。その中でも子どもたちの学校環境を守らなければならない。統廃合は仕方がないとも思われます。

【委員】

教員の不祥事はなぜ起きるのかと思う。個人の資質かと思うが、指導する立場でどうなっているのか。

【校長】

法令遵守や不祥事防止について先生方の研修も相当やりました。県から来たビデオの視聴をしたりした。独自にパワハラ研修、カスハラ研修、体罰に関する研修、不適切な発言に関する研修も行った。

職員会議では、先生方一人一人からの、自分の経験あるいは見聞きした不祥事防止対策等について事例を発表してもらっている。

こども性暴力防止法が令和8年12月25日に施行される。全教職員の性犯罪歴を調べることになる。教員採用試験を受ける人、部活動指導員等も対象となる。

【委員】

多くの教員が頑張っていることは知っている。

5 連絡

【副校長】

来年度の学校運営協議会委員は継続でお願いしたい。もし、ご都合により継続が難しい場合はご連絡ください。その際は後任の方を推薦していただきたい。

以上